

昔ながらのお墓 どっしり9寸 (転倒防止加工)

歴史ある趣のある和墓。
現代のものとは違い、なんだか ゆったりとしていて 大らかです。
魂の宿るたいせつな仏石は大きく造られ、台石の高さは控えめに。
そう、どっしりとしているのです。

それらは年数を重ねるごとに大地に根を張り、
やがて大地に溶け込んでいくかのような存在になっていきます。
仕上げは、もちろん伝統ある叩き仕上げ。



その前で、しゃがんで見てください。
なんだか、自然と落ち着きませんか？
手を合わせてみたくなりませんか？
古くからのお墓は、「自然と手を合わせる力」を持っていました。
現代のお墓は、仏石が小さく、全体に背が高く豪華でスリム。
見た目にも光沢があり、デザイン性にも飛んでいます。
ですが、失われたものもあります。
それは「手を合わせる力」。

魂の宿る仏石正面には、昔ながらの開花蓮（かいかれん）を。
そしてお骨の入る台石にも、
格狭間を設け、開花蓮をそっと手彫り彫刻致しました。
(*蓮華とは、再生のシンボルです。)

